

■ 博報堂の
■ ソーシャルアクション

ENVIRONMENT - 環境への取組み -

博報堂は、1980年代前半から環境をテーマにしたコミュニケーションに携わり、公共性の高い啓発キャンペーンから企業の環境広告や環境ブランディングまで幅広く手がけてきました。



特に 2005 年度より現在に至るまで、環境省の委託事業として地球温暖化防止国民運動（チーム・マイナス 6%／チャレンジ 25 キャンペーン）の運営事務局業務を担当しています。事務局業務を通してクールビズ、ウォームビズ等の国民運動に関与し、全国の自治体、企業、NPO 等との様々な連携により、環境分野でのネットワークを築いてきました。

社内には環境関連機能を統合する組織「環境コミュニケーション推進室」を設置。お得意先の皆さまの環境をテーマにしたマーケティング、ブランディング、コミュニケーションを支援する専門組織としての取組みを続けています。

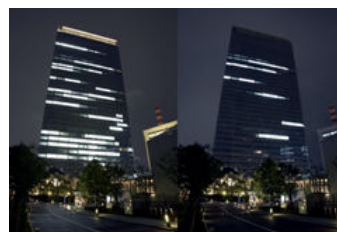
また、社員が自発的に有識者を招いた講演会や勉強会を開催し、プロジェクトを立ち上げていくなど、その意識の高まりを形としてきました。

博報堂は 2007 年に環境方針を制定、環境対策担当部署を設置し、環境マネジメントシステムを運用しています。あらゆる事業活動の局面において、地球環境の保全と改善に向けた取組みを行っています。

日々の会社生活における環境への配慮を示す行動として、チャレンジ 25 キャンペーンに自社としても参加して各施策を進めています。2009 年 4 月の本社オフィス移転の際にも「カーボン・ニュートラル」を実現するなど、環境経営を推進しています。

環境に配慮したオフィス生活

チーム・マイナス 6%への参加や社員一人ひとりが参加できる活動を行っています。



フォレストサポーターズ

日本の「美しい森づくり」を持続可能なものにしていくための活動に取り組んでいます。



eco japan cup/CHIKYU RECORDS

アーティストの発掘・支援など、エコビジネスの芽を見つけ、育てる運動に取り組んでいます。



eco japan cup

カーボンオフセットサービス

京都議定書の目標遵守に貢献するためのサービスに取り組んでいます。



日刊温暖化新聞

枝廣淳子さんが主催する「日刊温暖化新聞」にパートナー企業として参加しています。



生物多様性保全への取り組み

企業や NPO・NGO に対する情報発信と提案。社員に対する啓発活動などを行っています。



生活者の環境意識調査・分析

生活者の視点から、環境問題の未来を考える取り組みを行っています。

